

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス

2022年3月期 決算説明資料

A & Dホロンホールディングス

証券コード 7745

<ご注意>

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

2022年3月期

大幅増収増益、売上・営業利益共に過去最高を達成

- 主力の計量機器の需要回復や新規市場参入による伸長など売上、利益ともに増加し全体業績を牽引
- 材料費価格や輸送費用高騰等が見込まれる中、製品のコストダウン活動を推進するとともに、固定費の抑制につとめる

2023年3月期
予想

各種リスクを織り込むも引き続き増収増益を見込む

- ロシア・ウクライナ情勢悪化によるリスクおよび半導体等の材料の価格高騰リスクについても予想に織り込み済
- 半導体関連事業の拡大、計測・計量機器事業の日本、米州などの売上増を見込む

配当

**23年3月期配当予想は22年3月期配当25円から
5円増配の30円**

| Contents

1 | 2022年3月期業績の総括

2 | 2023年3月期の業績予想

当社は当社連結子会社である株式会社ホロンと経営統合をし、2022年4月1日からA & Dホロンホールディングスとして始動しました。つきましては、2022年3月期はA&Dの業績結果、2023年3月期はA & Dホロンホールディングスの業績予想となっております。

| Contents

1 | 2022年3月期業績の総括

2 | 2023年3月期の業績予想

売上高は前年同期比約7%増、原価上昇も販管費を前年並みに抑え大幅増益

売上高 | 前年同期比

6.8% ↑

営業利益 | 前年同期比

24.8% ↑

要因

✓ 計測・計量機器事業 |

企業活動・経済活動が持ち直しによる製造業の設備投資回復基調を背景に売上高・営業利益共に伸長

✓ 医療・健康機器事業 |

健康機器における前年度の特需吸収を目指すも売上高は対前年度微減

✓ 原材料価格と輸送費用の高騰のなか、コストダウン活動の推進と販売費及び一般管理費の抑制により対前年同期増益を継続

2022年3月期業績の概況

売上高、各段階利益ともに21年11月9日公表の業績上方修正予想を上回り過去最高で着地

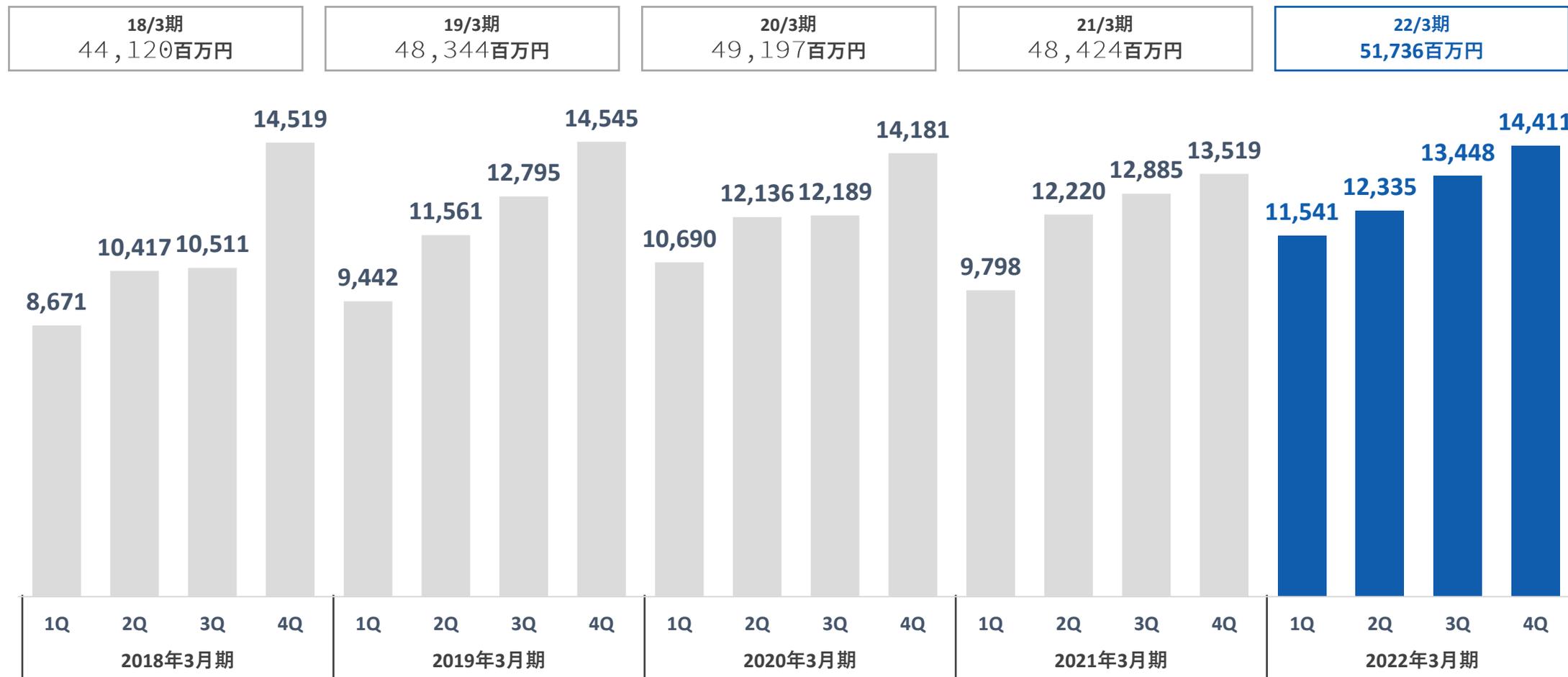
(単位：百万円)

連結損益	2021/3期 (実績)	2022/3期 (実績)	前年同期比	2022/3期 修正後予想 (21年11月9日)	2022/3期 当初予想
売上高	48,424	51,736	106.8%	51,500	50,000
売上原価	26,787	28,853	107.7%	28,440	27,970
販売費及び 一般管理費	17,232	17,386	100.9%	17,700	17,830
営業利益	4,404	5,496	124.8%	5,360	4,200
経常利益	4,564	5,604	122.8%	5,410	4,020
税引き前利益	4,536	5,532	121.9%	5,340	4,020
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,339	3,573	107.0%	3,430	2,552
1株当たり 当期純利益 (円)	161.87	172.92	107.0%	166.06	123.71

四半期別売上高の推移

売上高は四半期の差が縮小、各四半期前年同期を上回る

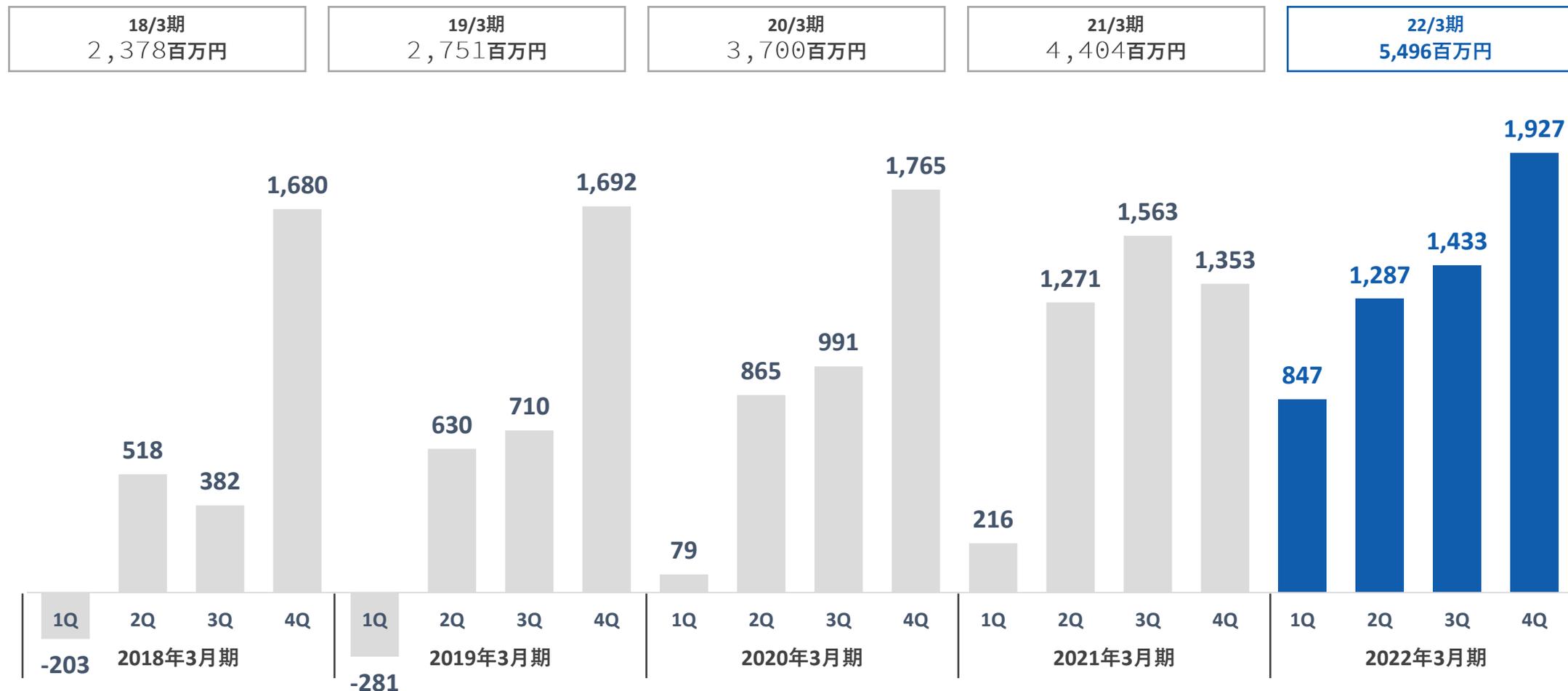
(単位：百万円)

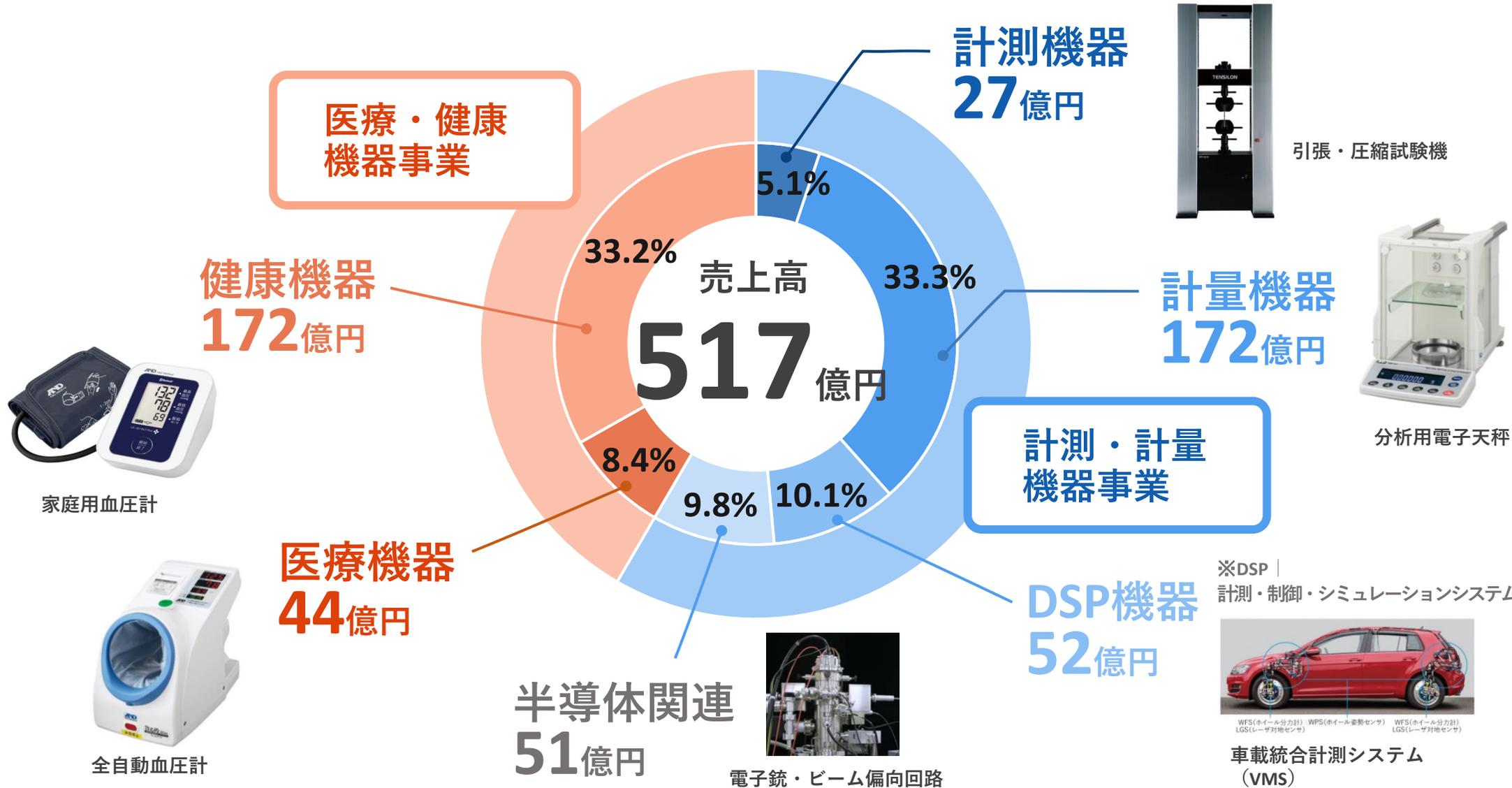


四半期別営業利益の推移

営業利益は 3 期連続で各期黒字化、通期5,496百万円は過去最高益

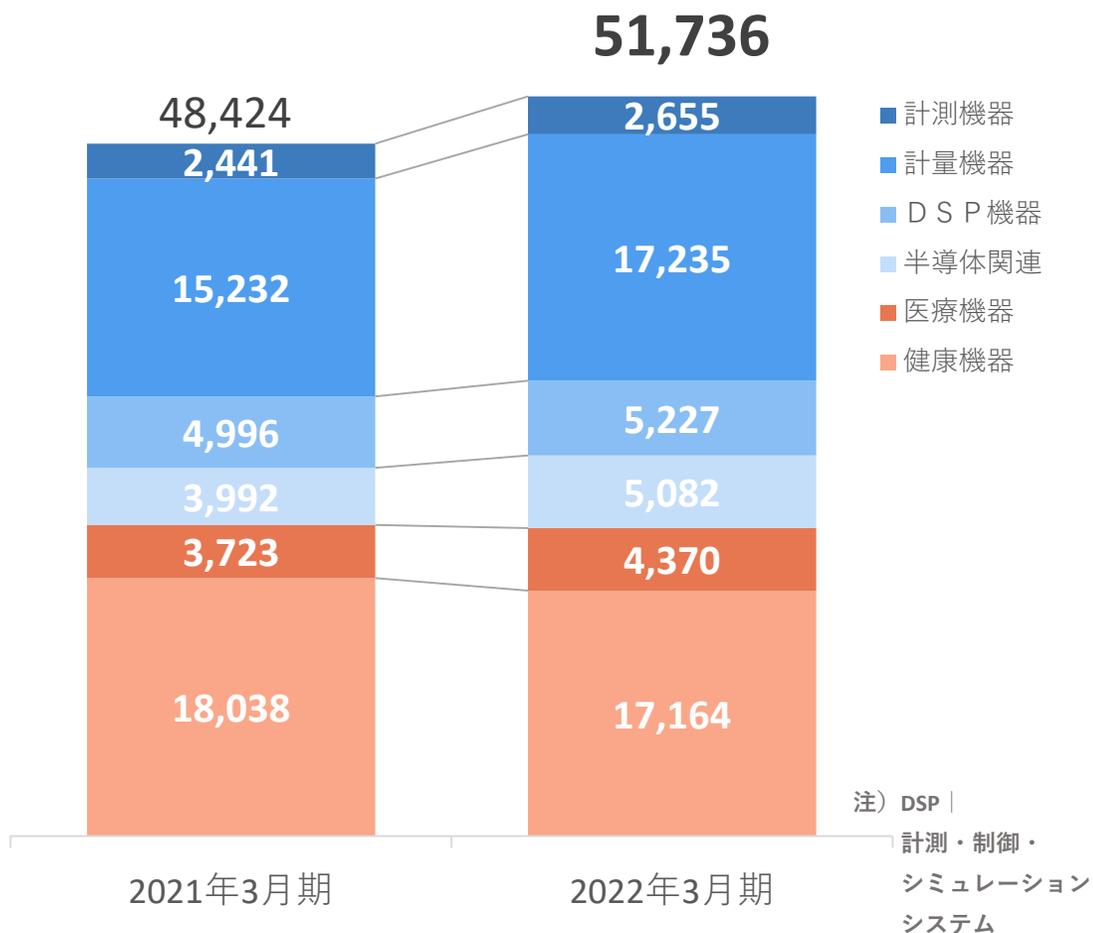
(単位：百万円)



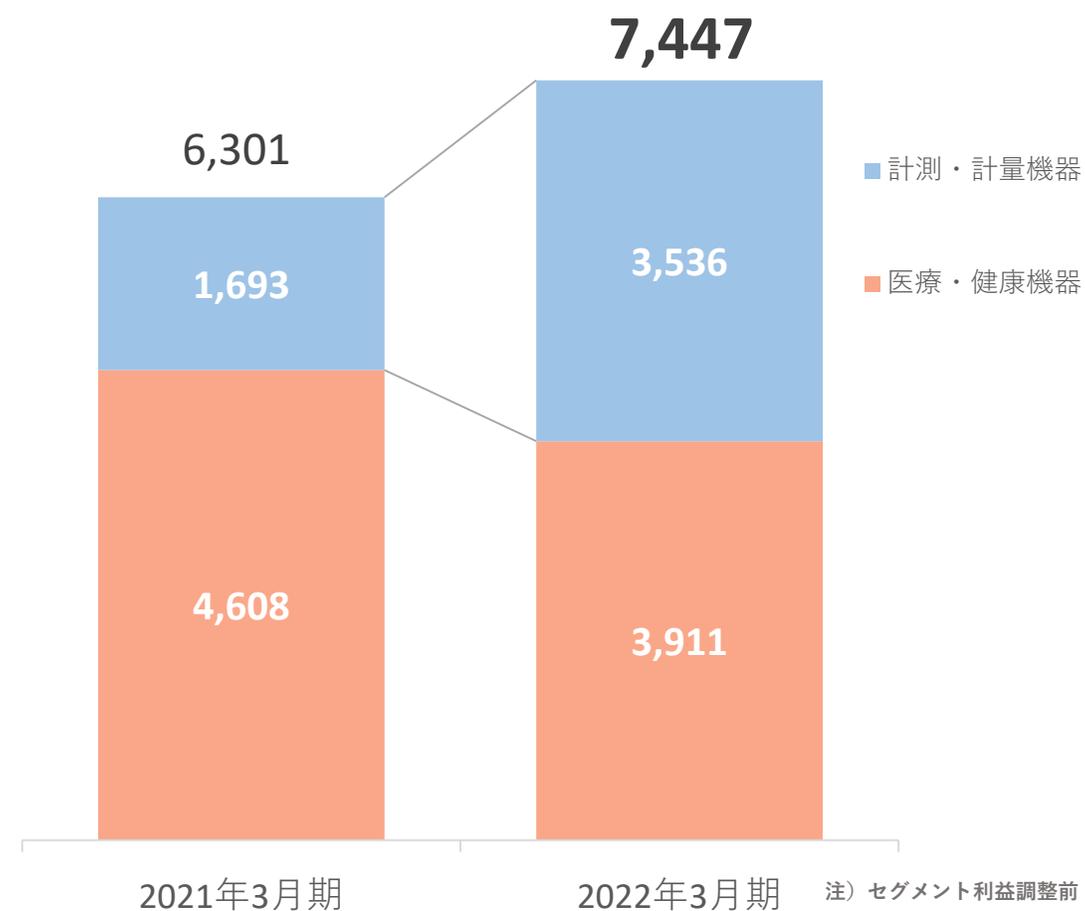


計測・計量機器の売上高は順調に伸長、利益においては倍増

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



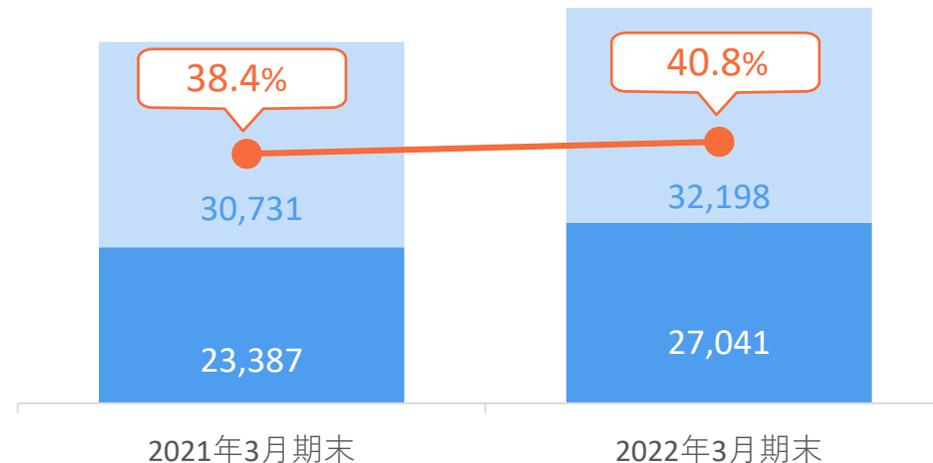
財務状況 2022/3末

※（ ）内は2021/3期末日



負債・純資産・自己資本比率

■ 純資産 ■ 負債 ● 自己資本比率 (単位：百万円)



(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期
流動資産	40,028	43,946
固定資産	14,091	15,292
資産合計	54,119	59,239
流動負債	24,588	26,202
固定負債	6,143	5,995
負債合計	30,731	32,198
純資産合計	23,387	27,041

受取手形・売掛金及び契約資産の増加 10.1億円

① 商品及び製品、仕掛品、
原材料及び貯蔵品の増加 42.1億円
建物及び構築物の増加 18.6億円

② 支払手形及び買掛金の増加 8.5億円
短期借入金の増加 6.6億円

③ 株主資本の増加 28.6億円

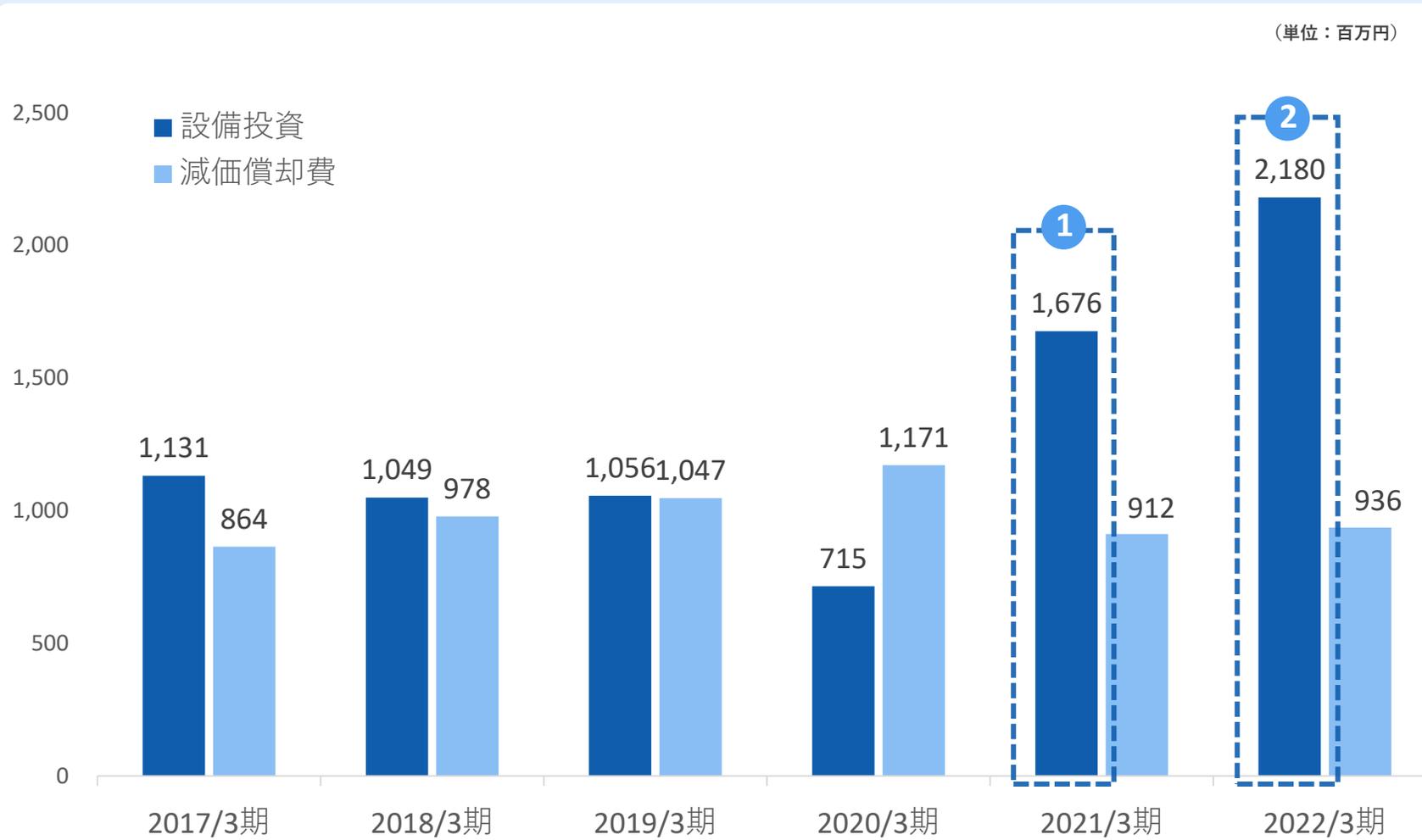
長期借入金の返済等により、期末現預金残高は減少

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるCF	5,194	1,782
投資活動によるCF	▲2,222	▲2,395
財務活動によるCF	▲257	▲741
期末現金残高	12,129	11,012

- 売上債権の増減額 ▲1,397百万円
 - 棚卸資産の増減額 ▲3,154百万円
- 有形固定資産の取得による支出 ▲2,071百万円
- 長期借入れによる収入 2,823百万円
 - 長期借入金の返済による支出 ▲3,081百万円

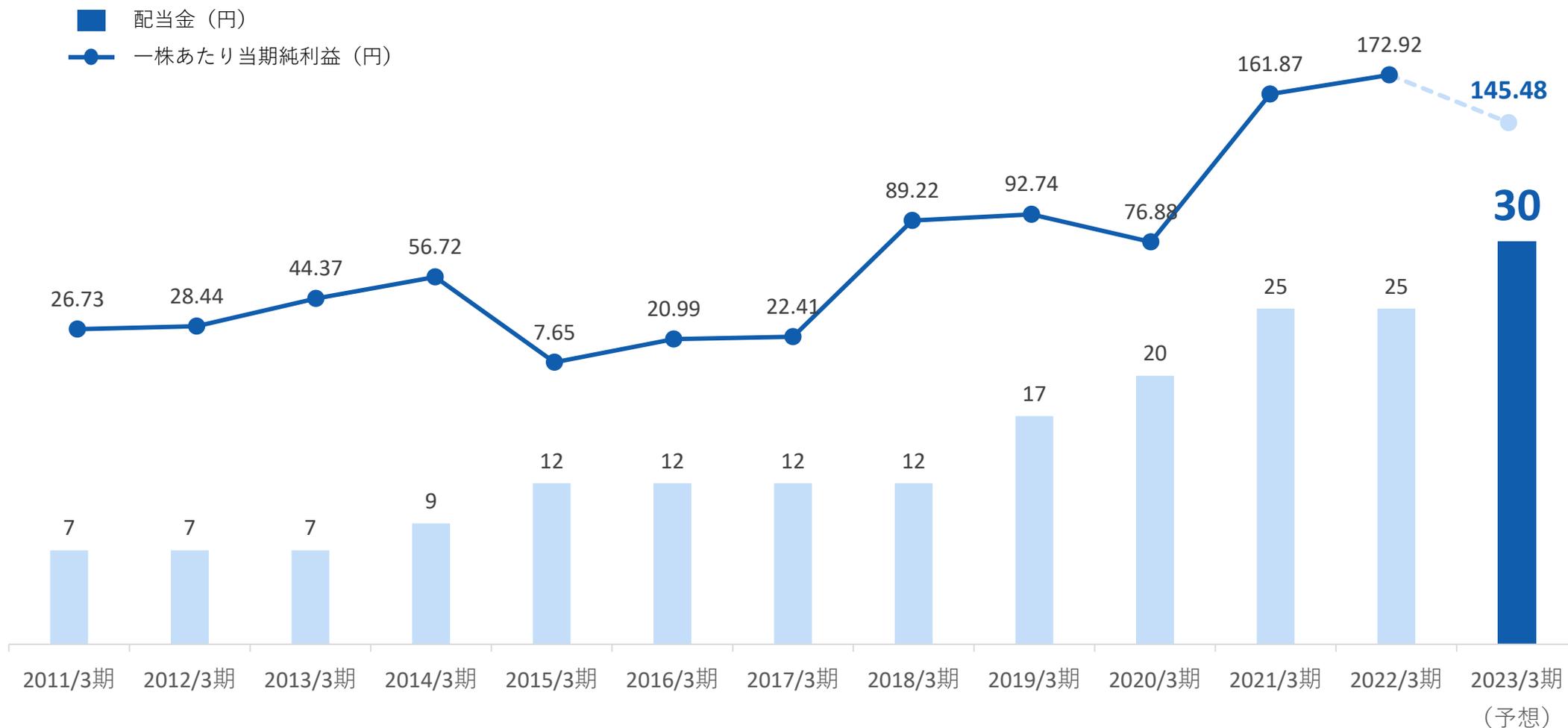
設備投資・減価償却費の推移



注) 上記、設備投資額及び減価償却費は有形固定資産に対するもののみ集計しております

- 1 2021年3月期はホロンの新本社工場建設のため設備投資が増加
- 2 2022年3月期は韓国新工場建設及び前年度に引続きホロンの新本社工場建設の設備投資が増加

2023年3月期年間配当（予想）は2022年3月期から5円増配の30円

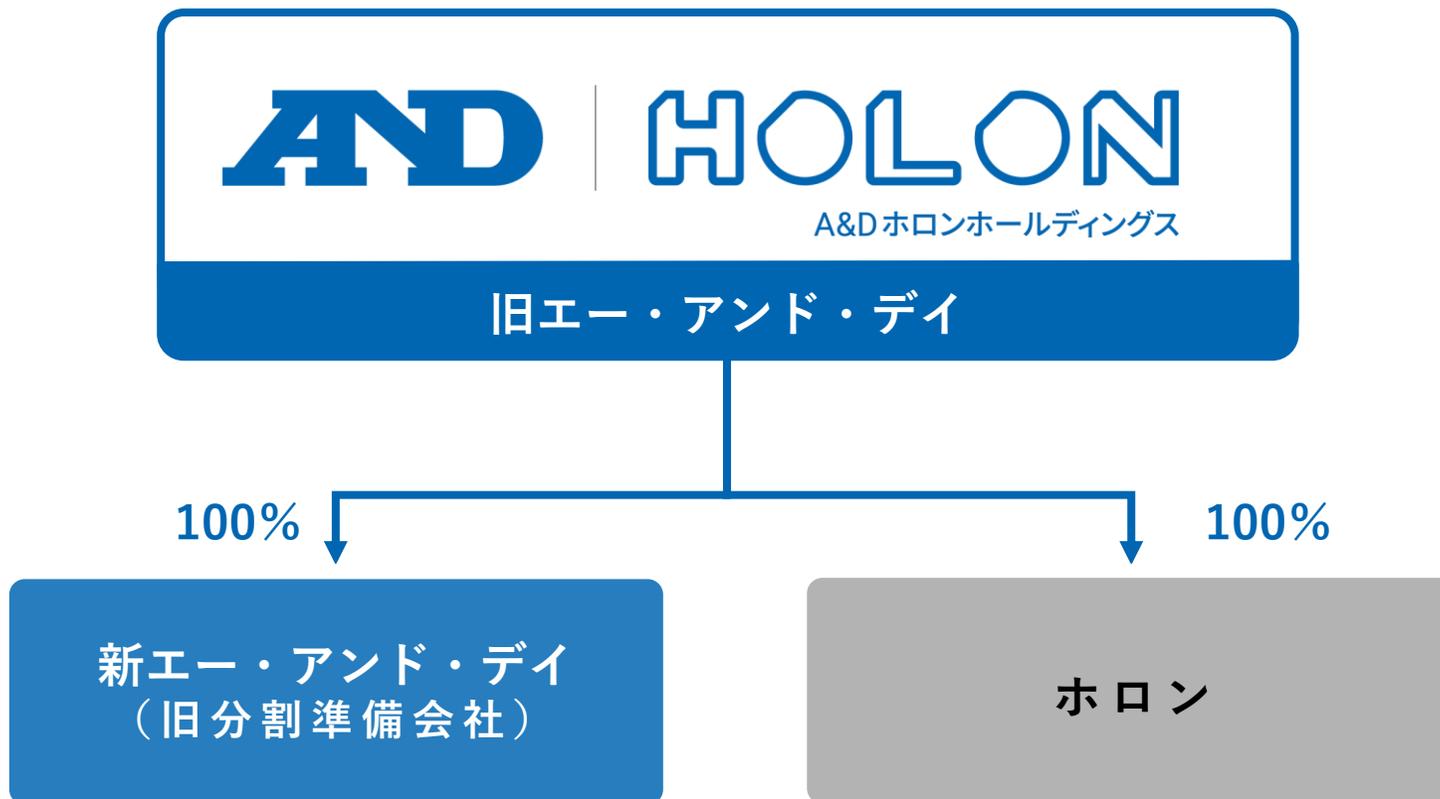


| Contents

1 | 2022年3月期業績の総括

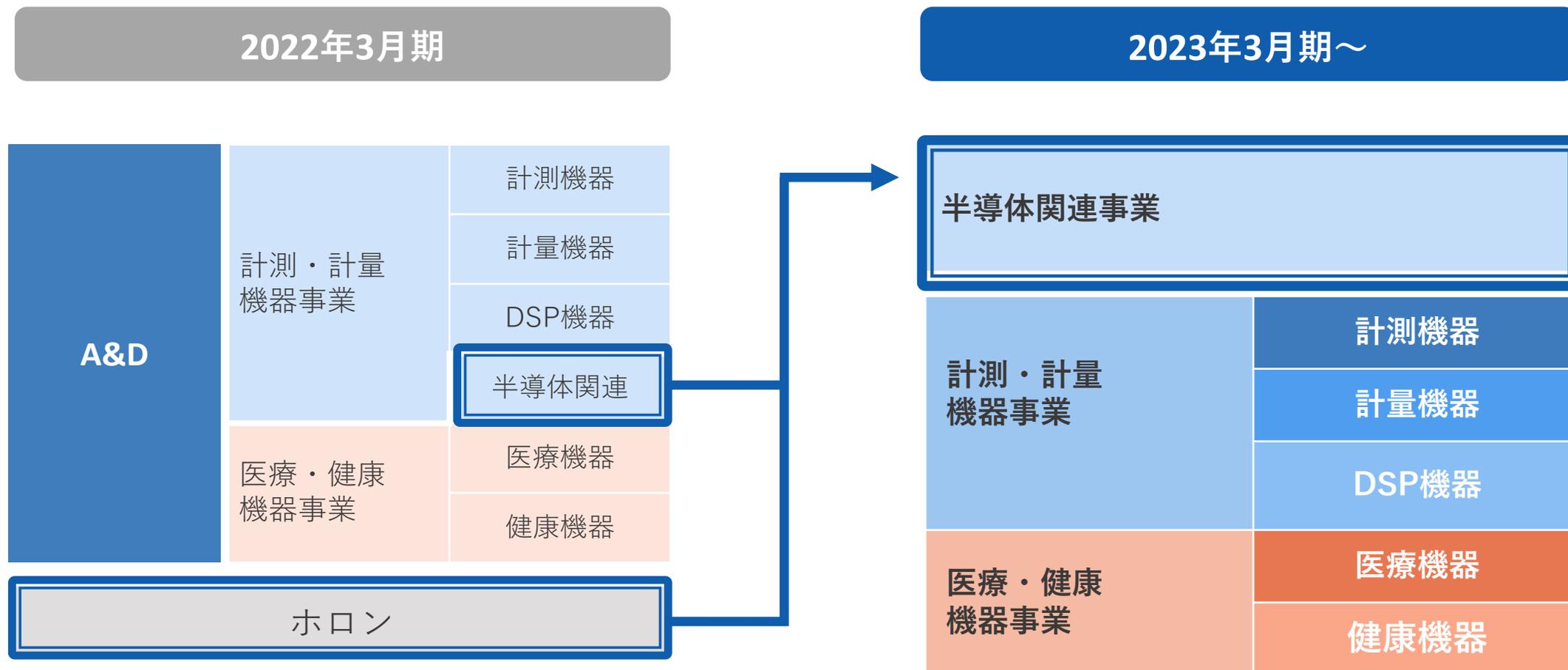
2 | 2023年3月期の業績予想

2022年4月1日、持株会社体制への移行を伴う経営統合を実施し、A & D ホロンホールディングス始動



セグメントの変更

ホロンとの経営統合により、半導体関連事業を当社グループの成長エンジンと位置付け、セグメントを以下の通り変更します。



		事業環境
半導体関連事業		半導体需要の急速な高まりを受け 半導体装置メーカーの設備投資拡大 当社主要顧客の先端投資は今後増々活況となり 旺盛な需要は中期的に継続
計測・計量機器事業	計測機器	産業用設備投資の回復に伴い 計測機器需要も増加傾向 計量機器は、二次電池製造をはじめとする EV関連投資拡大に伴う生産設備用の計量器需要が増加
	計量機器	
	DSP機器	CASEを中心とした新規技術への投資拡大 カーボンニュートラルへの対応加速のため内燃機関に対する投資が先細りになると見込まれる一方で EV関連投資が拡大
医療・健康機器事業	医療機器	前期のような需要の高まりはいったん落ち着くと見込むものの、医療のデジタル化推進及び医療インフラ整備に伴う 中期的な投資拡大により需要は増加傾向
	健康機器	個人での健康意識の高まりおよびデジタル化推進に伴い ICT健康機器の需要増加、特に日本及び米州での需要増を見込む

(単位：百万円)

連結損益	2022/3期 ご参考 A & D実績のみ	2023/3期 A & DホロンHD予想	前期比	前期比増減額
売上高	51,736	53,800	104.0%	2,063
売上原価	28,853	30,000	104.0%	1,146
販売費及び 一般管理費	17,386	17,800	102.4%	413
営業利益	5,496	6,000	109.2%	503
経常利益	5,604	5,870	104.7%	265
税引き前利益	5,532	5,870	106.1%	337
親会社株主に帰属する当期 純利益	3,573	3,990	111.6%	416
1株当たり 当期純利益 (円)	172.92	145.48	84.1%	▲27.44

想定為替レート； 1ドル=120

参考資料

2022年3月期業績および2023年3月期業績予想 補足資料

- 2022年3月期 セグメント別業績の概要
- 2022年3月期 営業利益増減要因（前期比）
- 2023年3月期 各事業別業績予想

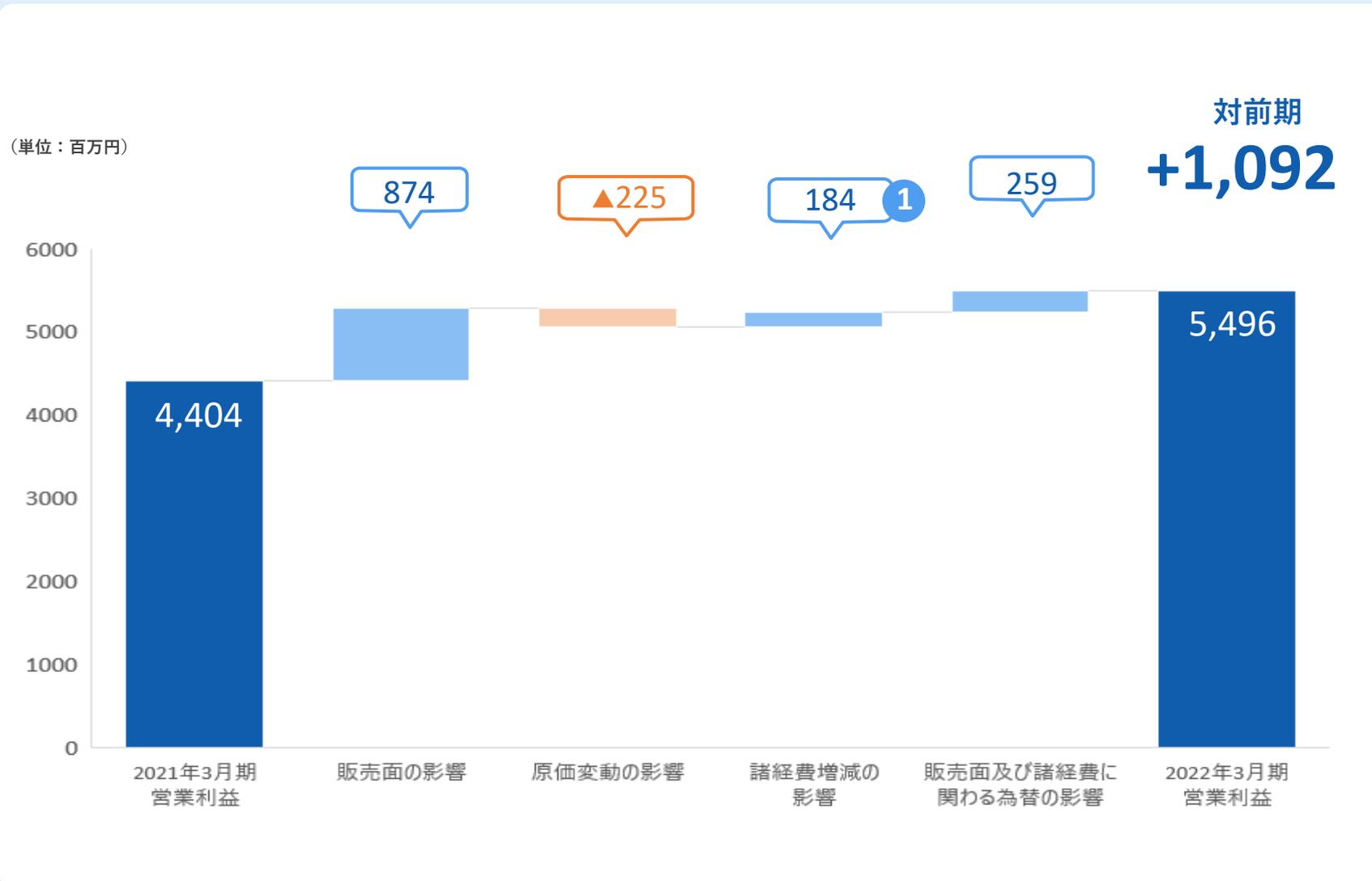
中期経営計画

- 中期経営計画 数値目標
- 中期経営計画 事業別売上計画

連結損益 (単位：百万円)	2021/3期 累計 (実績)	2022/3期 累計 (実績)	前期比
売上高	48,424	51,736	106.8%
計測・計量機器	26,662	30,201	113.3%
医療・健康機器	21,762	21,534	99.0%
売上原価	26,787	28,853	107.7%
計測・計量機器	14,814	16,397	110.7%
医療・健康機器	11,574	12,084	104.4%
販管費	17,232	17,386	100.9%
計測・計量機器	10,154	10,268	101.1%
医療・健康機器	5,579	5,538	99.3%
営業利益	4,404	5,496	124.8%
計測・計量機器	1,693	3,536	208.9%
医療・健康機器	4,608	3,911	84.9%
全体／消去	▲1,897	▲1,951	102.9%

営業利益増減要因（前期比）

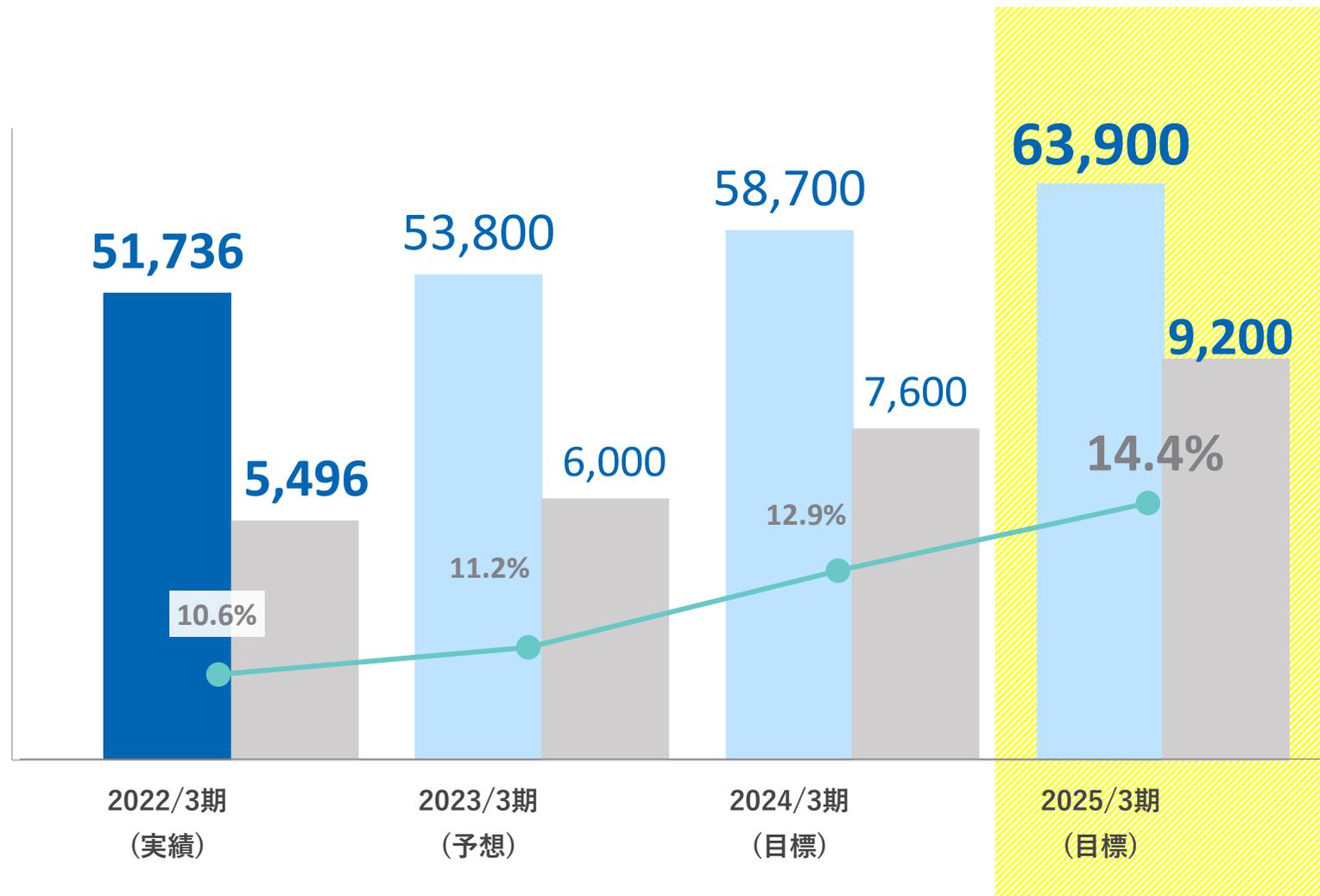
経済活動の回復基調に伴う需要対応と原価低減及び販管費削減により営業利益は続伸



① 諸経費の主要因

- ・ 海外運送費の増加 ▲ 552百万円
- ・ 広告宣伝費の削減 + 556百万円
- ・ 販売手数料の削減 + 45百万円
- ・ 販売奨励金の削減 + 65百万円
- ・ 減価償却費の減少 + 60百万円

単位：百万円		2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	増加額	増加率
半導体関連事業		5,082	6,400	1,317	125.9%
計測・計量 機器事業	計測機器	2,655	3,150	494	118.6%
	計量機器	17,235	18,460	1,224	107.1%
	DSP機器	5,227	6,680	1,452	127.8%
	小計	25,119	28,290	3,170	112.6%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,370	4,220	▲150	96.6%
	健康機器	17,164	14,890	▲2,274	86.7%
	小計	21,534	19,110	▲2,424	88.7%
売上高合計		51,736	53,800	2,063	104.0%



2025年3月期

売上高
22/3期比
123.5%

営業利益
22/3期比
167.4%

※詳細については、2022年5月19日開示「経営統合後の中期経営計画」をご参照ください

単位：百万円	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2024/3期 (目標)	2025/3期 (目標)	対2022/3期 増加額	対2022/3期 増加率	
半導体関連事業	5,082	6,400	7,780	8,960	3,877	176.3%	
計測・計量 機器事業	計測機器	2,655	3,150	3,540	3,900	1,244	146.9%
	計量機器	17,235	18,460	19,900	21,570	4,334	125.1%
	DSP機器	5,227	6,680	7,580	8,260	3,032	158.0%
	小計	25,119	28,290	31,020	33,730	8,610	134.3%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,370	4,220	4,410	4,670	299	106.9%
	健康機器	17,164	14,890	15,490	16,540	▲624	96.4%
	小計	21,534	19,110	19,900	21,210	▲324	98.5%
売上高合計	51,736	53,800	58,700	63,900	12,163	123.5%	

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス